

入室する前に朝の検温結果や体調を記録します。(1月21日 昇降口)

今日は3年生の学年末テストの2日目です。入試の関係から1・2年生の学年末より1か月ほど早く行われます。3年間で14回(本来は15回ですが、臨時休校のため1学期中間テストが中止)ある校内の定期テストも今日が最後。

1日目の美術では「卒業文集の表紙デザイン」が実技問題として出題されていました。文集にふさわしいタイトルと絵やイラストで紙面を構成する内容です。紙面を見つめ黙々と鉛筆を走らせる3年生。これまでの3年間を振り返る脳裏には、何が去来しているのでしょうか。

1・2年生ならば最後のテストが終わったときに見せる安堵の表情。3年生にはありませんでした。定期テストはあくまでも通過点。めざすのは入試本番なのでしょう。

職員室では、生徒が記入した県立前期の入学願書が置かれ、正しく書かれているかどうか、担当教師による確認が連日行われています。

大寒を過ぎ、間もなく立春を迎えます。朝晩の冷え込みは相変わらずですが、日差しは暖かさを増しているようです。

季節は確実に春に向かっていきます。

## 最後の定期テスト

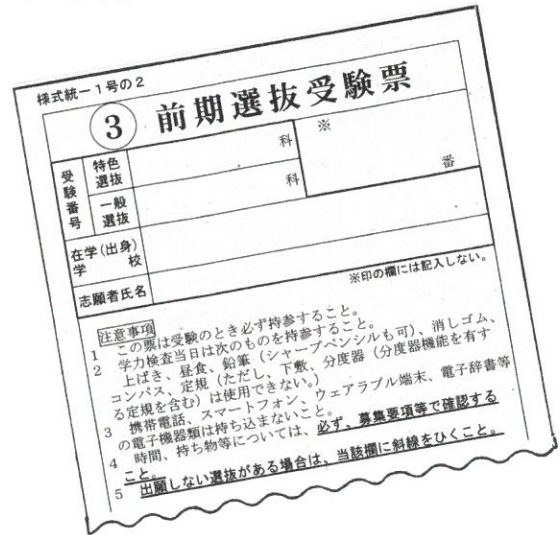
# 受験ニ二知識① 「筆記用具」

県立前期選抜では5教科の学力検査が行われます。受験票には各高校共通の持参物が指定されており、筆記用具は鉛筆(シャープペンシルも可)と明記されています。

生徒の筆入れを見ると、たくさんの色ペンとシャープペンシルが入っています。鉛筆は？  
高校入試で使用する筆記用具、数年前からシャープペンシルでもかまわないと追記されましたが、基本は鉛筆です。

入試で求められるのはまず公平性です。みんな同じ条件で同じ問題に取り組めます。そのため、筆記用具にも厳しい眼が向けられます。多機能なシャープペンシルがある中、監督する側にとっても、鉛筆が一番確実で安心できる筆記用具です。  
次に生徒は採点する側にとって読みやすい解答を書かなければなりません。細く加工されたシャープペンシルの芯は固く、力の入れ方によっては薄い字になりがちです。せっかく正解を書いても採点側が読み取れなかったら…。

鉛筆とシャープペンシルにはそれぞれの良さがありますが、生徒達はシャープペンシルを使いがちです。そんな中、日頃から鉛筆もうまく使いこなす習慣が必要です。HB から 2B 程度の鉛筆を4、5本そろえ、普段の定期テストの解答の際にも、鉛筆を多用するなどの訓練が入試本番にも生かされていくのではないのでしょうか。



## 来週の予定

月日	曜	時間	割	主な行事・予定
1/24	日			
25	月			短縮 ③三者相談(1)
26	火			短縮 ③三者(2) 進高专(勃)出願
27	水		給	⑥カット ⑤C 部活なし ●職員会議
28	木			短縮 ③三者(3)
29	金		学活	③学力テスト(7) 進緑蔭B合格
30	土			①②学年末テスト範囲発表

①1学年 ②2学年 ③3学年 ④全学年 丸付き数字は時間割

★ 3年生の希望者による三者相談が実施され、県立高校の出願先の最終確認が行われます。その時間を確保するため、3日間は短縮授業となります。

★ 出題範囲の広がる学年末テストに備えるため、テストの約3週間前に出題範囲を発表します。

【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒  
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1  
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338